

平成16年度
予算案

前立腺がん検診新設！ 乳幼児医療費助成拡大！

3月議会は3月1日から19日の予定で開かれ、平成16年度の予算案が審議されます。ここでは、大垣市の重要政策（夢ある事業）50事業、5億5789万円の中味についてお知らせします。

市民の願いが少し届いた

●乳幼児医療費助成の拡大

これまで5歳未満だった入院費の助成が小学校入学前までに拡大。

●前立腺がん検診（PSA検査）事業

前立腺がん早期発見のためのPSAという血液検査が基本健康検査時に実施されます。50歳以上の男性が対象で受診料は500円。

●小児夜間救急医療事業

土曜日の18時から22時まで、市民病院救命救急センター内に小児科医が常駐して、診察を行います。

●木造住宅耐震対策支援事業

昭和56年以前の在来工法による木造住宅を対象に、耐震診断費と補強工事費に補助金が出ます。

●病後児保育事業

病後の未就学児を一時預かる事業で1回2000円。

3月議会のお知らせ

一般質問は3月8日（9日予備日）に予定されています。ぜひ傍聴にお出かけください。

●生垣設置推進事業補助金

●ほほえみスタディ・サポート事業

不登校児童生徒に対して家庭にボランティア講師を派遣します。

●新エネルギー推進事業

一般家庭での太陽光発電システム導入に対し、設置費の一部を助成します。

平成16年度予算案の特徴と問題点

市議員 笹田トヨ子

IT関連事業に71%

今年は、個人所得の落ち込みで市税1億7000万円の減収や地方交付税3億4000万円減額で、平成4年度の水準にまで落ち込んでいます。

歳出では、一般財源の中で占める割合の順位が①民生費、②公債費、③土木費、④教育費、⑤総務費になっています。民生費は、公立保育所の人件費などが一般財源化されたため割合が高くなったと思われます。公債費は昨年より少し減りましたが、一般財源の中で占める割合は増えました。性質別集計でみると、人件費が6億7000万円減額されています。

平成16年度重要施策の目玉は芭蕉祭1億2600万円の予算を組んでいることです。また「人材育成・

予算案…市民の声

◆昨年の「芭蕉と出会う街 大垣」イルミネーション、きれいだったけどわざわざ見には行くほどではないですね。中心市街地活性化のためなら、店がシャッターを下ろす夜よりも、昼間に人が集まるような事業をしたほうが良いのでは。

◆ブックスタート事業って4ヶ月健診のときなんですね。それより先に、一度に大勢を健診するやり方を変えて欲しい。待ち時間が長くて親子とも疲れるから。絵本は1歳半健診でなら、子どもものってくると思うけど。

IT」の分野では14事業7369万円の予算がついています。その内、住基ICカード多目的利用推進事業（1000万円）、情報工房リニューアル（1040万円）、小学校校内LAN活用推進事業（2670万円）とIT関連で5234万円（71%）の予算で占められ、乳幼児医療費助成拡大（640万円）、病後児保育（853万円）、ほほえみスタディサポート（252万円）等IT以外の事業は1883万円（29%）と予算配分の偏りが見られます。

特に問題は、住基ICカード多目的利用推進事業で、ICカードで証明書等の自動交付を進めようというものです。もともと住基ネットシステムは個人情報の保護等に問題があると指摘され、現在ICカードの取得者は約100名程度です。このように少人数の取得者のために1000万円の税金を投入するのはいかがなものでしょうか。

スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ

TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp